

## 概要

当科では歯・顎骨の硬組織と歯肉・頬粘膜・舌・口底・口唇の粘膜および顎下腺・舌下腺・耳下腺（腫瘍を除く）の大唾液腺組織を中心に歯科・口腔外科的領域の疾患について診断・加療を行っています。

下関医療圏の歯科医院からの紹介は以下の5つの多いです。①有病者の抜歯（抗血小板薬・抗凝固薬・BP製剤の内服中や内服既往）、②智歯抜歯や難抜歯、③口腔粘膜疾患、④骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（BRONJ・ARONJなど）や顎骨骨髓炎、⑤頬部膿瘍や下顎骨周囲膿瘍などの重篤な歯性感染症

また、医科からの院内紹介は以下の5つが多いです。①周術期等口腔機能管理、②義歯調整、③口腔ケア、④口腔粘膜疾患、⑤補綴部の脱離

### 【専門領域】

- ・有病者患者の観血的処置（抜歯や切開・排膿・ドレナージなど）
- ・口腔外科処置（智歯抜歯や嚢胞摘出など小～中手術：全身麻酔下、局所麻酔下での手術）
- ・周術期等口腔機能管理

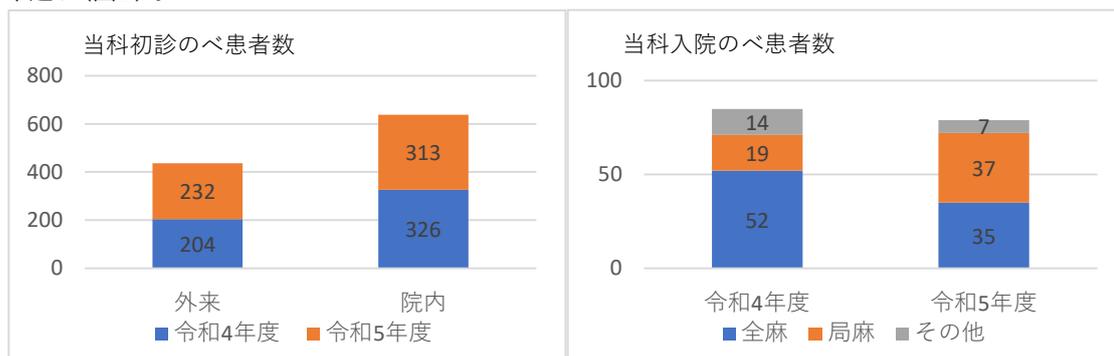
### 【診療内容】

- ・山口県歯科医師会および下関歯科医師会の先生と連携を取りながら、歯科・口腔外科診療を行っています。
- ・周術期等口腔機能管理として、全身麻酔下での頭頸部・呼吸器・消化器・乳腺領域の悪性腫瘍手術、脳外科領域や人工股関節置換術等の整形外科領域の手術に対する手術前後の口腔ケアを行っています。さらに、がん等に係る放射線治療・化学療法を実施している患者様（予定している患者様を含む）・緩和ケアの患者様の口腔ケアにも取り組んでいます。
- ・骨吸収抑制薬関連顎骨壊死や顎骨骨髓炎に対し、外科的手術前後に、高気圧酸素療法＋抗菌薬の投与を積極的に行っています（症例によっては山口大学歯科口腔外科へ紹介する場合があります）。
- ・全身麻酔下での顎骨嚢胞摘出や智歯抜歯等も行っています。

### 【令和4年度・令和5年度の当科初診のべ患者数・入院のべ患者数】

①令和4年度・令和5年度の当科初診のべ患者数（外来・院内）は以下通り（図1）。

②令和4年度・令和5年度の当科入院のべ患者数（全身麻酔下手術：全麻、局所麻酔下手術：局麻、その他）は以下通り（図2）。



(図1)

(図2)

### 【感染予防対策】

・歯科診療時の感染予防対策として、入室時、すべての患者様にアルコールでの手指消毒を、スタンダードプリコーションとして患者様ごとに滅菌器具やディスポーザブル器具等を使用しています。

さらに、歯科診療台等は患者様ごとに、清拭クロス等で消毒を、診療室内の唾液・血液等の飛沫軽減として、口腔外バキューム使用しています。

・加えて、診療室にHEPAフィルター＋紫外線殺菌装置搭載の空気清浄器を2台使用しています（2020年10月から）。夜間はオゾン発生装置を使用し室内全体の消毒を行っています（2021年2月から）。

2022年2月には、ストリーマ搭載の空気清浄器をX線照射室および歯科技工室にそれぞれ設置しました。

2023年3月に、新しい歯科診療台を設置（交換）しました。



歯科用滅菌器具



口腔外バキューム



新しい歯科診療台

### 【学会発表】

日本口腔外科学会・日本口腔科学会・日本有病者医療学会・国立病院総合医学会などでの発表を行っており、今後も積極的に行う予定です。